

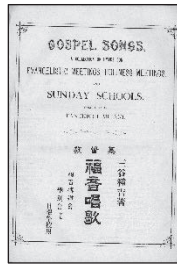
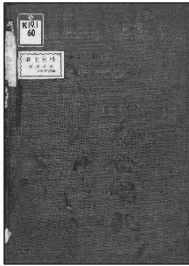
きりすときょうふくいんしょうか
ふくいんでんどうかいせいべつかいおよびにちようがっこうよう

#25 基督教福音唱歌

福音傳道會聖別會及ビ日曜學校用

作者：三谷種吉（みたに・たねきち 1868-1945）

刊行：明治34年（1901）



※左より、表紙、中表紙、楽譜



♪ 解題

■ 内容

正しくは「基督教福音唱歌」だが、「福音唱歌」と言われることも多い。扉に三谷種吉著とあり、左開きで楽譜の間に歌詞を入れる方式の聖歌集の最初のものである。明治33年（1900）～34年（1901）の間に数種の版が出ているが、当館所蔵のものは、奥付に著者兼発行者としてビー・エフ・バックストーン（松江）、印刷所として東京印刷株式会社横浜分社が印字されたものである。

また、当館では、『基督教福音唱歌 福音傳道會聖別會及び日曜學校用 5版』も所蔵している。こちらは歌詞だけの記載で、楽譜はない。11×15cmの手のひらに乗るコンパクトなもので、右開きである。著者は三谷種吉、発行者は中田重治、印刷所はゼー・エル・カウエン、発行所は教文館、印刷所は教文館印刷所と印字されている。「第四百 神を称（ほむ）る心」の歌詞のあ

とに、牛車のイラストが掲載されている。

■ 作者

三谷種吉（1868-1945）は、「神はひとり子を」などの福音唱歌作曲者および音楽伝道者。福音文書伝道の草分け的存在である。神戸の外国人商社に勤務のかたわらイタリア人音楽家に学び、さらに語学に優れイギリス人伝道者の通訳をつとめるうち召命を感じ、B・Fバックストンの門下に入る。1893年頃からアコーディオンを携え日本を伝道旅行した。福音唱歌集として『基督教福音唱歌』、『靈感賦』などを、また明治38年～昭和16年には月刊『基督教新聞』を発行した。

■ 収録曲

104曲（軍歌之部9曲、救贖（すくひ）之部32曲、聖潔（きよめ）之部21曲、再臨之部2曲、証詞（あかし）之部10曲、感謝賛美之部9曲、送別之部2曲、日曜学校之部12曲、基督降誕（クリスマス）3曲、天国之部4曲）を所収。目次は日本語表記と英語表記が併記されており、その後に「福音唱歌 五十音見出し」および「GOSPEL SONGS/Index of Songs」も所収されている。全曲楽譜付きで、各曲の英語のタイトルも併記されている。

■ 讃美歌と唱歌

横浜はミッション・スクール発祥の地である。明治初頭、日本に赴任した女性宣教師や修道女たちによって多くの女学校が創設され、音楽教育、中でも讃美歌の歌唱指導に力が注がれた。また、教会の日曜学校でも讃美歌が多く歌われ、女学校や教会から明治の音楽界に多くの人材が輩出された。

このような時期に誕生した唱歌は讃美歌から大きな影響を受けた。大衆歌が起源である讃美歌は親しみやすく、比較的歌いやすいものであった。こういったことから讃美歌が唱歌に多く採用され、讃美歌の旋律に新たな日本語の歌詞を付与した唱歌が誕生したのである。

さらに唱歌が日本の大衆に受け入れられるようになったのは、軍歌が登場してからである。唱歌は、日清戦争をきっかけに軍歌が流行し、明治33年に軍歌調の言文一致唱歌と呼ばれる唱歌が盛んに作られるようになった。

♪ 類似の唱歌集

・『基督教福音唱歌 福音傳道會聖別會及び日曜學校用 5版』三谷種吉著
教文館 1908 [SH196.5/13]

♪ 参考文献

・『日本キリスト教歴史大事典』日本キリスト教歴史大事典編集委員会編
教文館 1988 [190.3/18]

・安田寛「唱歌になった讚美歌 CD 2」（『別冊解説書 原典による近代唱歌集成 解説・論文・索引』ビクターエンタテインメント 2000）[CD43/キタ]